

平成27年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト 採択案件一覧

1. 調査研究事業(商工会議所33件)

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【道産食材をふんだんに活用したさっぽろワンハンドスイーツ開発プロジェクト】 高い技術力を持つ札幌市内の複数の菓子店等が、北海道産の食材を主原料とした“さっぽろワンハンドスイーツ”をテーマに新商品を開発し、さっぽろスイーツを食べながら観光施設巡りやまち歩きをする新たな札幌の観光スタイルを提案・創造する。
2	網走商工会議所 (北海道)	【地域資源を活用した特産品開発研究事業】 原料出荷が主体の網走産小麦の加工、製品化による高付加価値化、また、ものづくりで唯一不足している「塩」を加工生産することで、オール網走産のものづくりを目指す。地域の産業おこし、雇用の創出につなげる。
3	美幌商工会議所 (北海道)	【美幌の魅力再発信！移動手段に着目した観光客向け観光開発事業】 活用可能な観光資源等の掘り起こしと、それら観光資源を体験させるための移動手段の検討を行う。また、移動手段ごとに観光客のターゲティングを実施し、具体的な商品の開発を進める。
4	留辺蘂商工会議所 (北海道)	【日本一の生産量「白花豆」を活用した特産品開発・観光開発プロジェクト】 栄養価も高く・ダイエット効果もある白花豆の成分研究を経た特産品の開発と、食と観光の相乗効果を目指した観光商品の開発を行う。留辺蘂発の全国展開システムの構築を目指す。
5	登別商工会議所 (北海道)	【地域間連携事業「室蘭・伊達・登別魅力再発見プロジェクト」】 平成28年春の北海道新幹線開業にあたり、観光客を周遊させるため三市のもつ歴史・文化・産業・自然・景観・食などの地域資源を有機的に結びつけ、磨き上げ、縦横に活用した総合的な地域発信ツールの作成と商品開発に係る調査・研究を行う。
6	青森商工会議所 (青森県)	【津軽・青森の伝統工芸・文化を活用した体験プログラム及び新商品開発】 青森の伝統工芸や技法を活かした体験型の観光プログラムの開発に必要な各種調査を行い、収益性のあるビジネスプランを策定する。また、海外からの観光客に対応する新商品開発に必要な調査ならびにモデル開発事業を行う。
7	盛岡商工会議所 (岩手県)	【「もりWalkerのススメ」プロジェクト】 盛岡市は「歩いて楽しむまち盛岡」を掲げている。普段の生活で気が付かない他地域との違いを、市民、県外・海外来県者の目線で調査し、盛岡暮らしの良さをアピールすることにより中心市街地への観光客の流入を促進し、交流人口の増加を目指す。
8	白石商工会議所 (宮城県)	【蔵王山麓の素材とeコマースによる「白石三白」ブランド化事業】 白石温麺(うーめん)・和紙・葛を「白石三白」と称して地元物産の象徴としてきたが、旧来の白石三白にこだわらない新しい「白石三白」の開発と「地域ブランド」の創生を目指す。またSNSの活用によりeコマースにつなぐ仕組みを構築する。
9	酒田商工会議所 (山形県)	【訪日外国人向け「おしん」体験企画発信事業】 訪日外国人旅行者の拡大・推進は、長期的、継続的な地域振興と観光振興につなげることができるとともに、地域内の産業育成にも結び付けていくことが可能である。早急に外国人目線に立った調査事業を実施し、地域資源の磨き上げを図る。
10	鶴岡商工会議所 (山形県)	【城下町×食文化×シルク産業による鶴岡観光価値開発プロジェクト】 城下町風情の残るまち割りや建造物・食文化・シルク産業を地域の資源と捉えて、AR(拡張現実)を活用した「観る」「買う」「食べる」「学ぶ」という情報や体験プログラムの提供による、多面的でユニークな観光商品開発を進める。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
11	新庄商工会議所 (山形県)	【「食」は地域を救う！新庄の冬のソウルフード開発調査プロジェクト】 「新庄のファンづくり」の拡大を目指して、現在、交流人口の増加に力を入れている冬に特化した食の開発事業に着手する。地域資源の掘り起こしと市場ニーズ調査等に基づき、最も有効となる素材の絞り込み、開発にあたっての事業戦略を策定する。
12	いわき商工会議所 (福島県)	【「いわき食のバリューチェーン形成」による地域ブランド商品開発事業】 食の安全・安心が揺らいでいるいわき市において、市民から支持されるいわきの特産品・地域ブランド商品の開発に向けた調査・研究を行い、食の信頼を高める「いわき食のバリューチェーン」形成の可能性等について検討する。
13	黒部商工会議所 (富山県)	【宇奈月温泉100年アクションプラン策定事業】 100年後も幸せな宇奈月温泉であるために、宇奈月温泉の課題に対応した解決策を検討するため、各種調査・分析を行い、次年度以降のアクションプランを策定する。
14	七尾商工会議所 (石川県)	【北陸新幹線開業効果による信越地域への販路開拓可能性調査事業】 平成27年3月14日の北陸新幹線金沢開業が実現し、長野県等信越地域から多くの観光客が石川県に流入している。能登七尾の地域特産品と観光資源とのコラボレーションによる商品開発の可能性を広く調査し、販路開拓につなげる。
15	飯山商工会議所 (長野県)	【「戸狩ふるさと薬膳ツーリズム」プロジェクト事業】 日本一の長寿県である、長野県の飯山市で育まれた地域の旬の素材を使った健康食文化を魅力的な観光資源として磨き上げ、長期滞在にも対応できるような「組み合わせの楽しみある観光地」を目指す。
16	日光商工会議所 (栃木県)	【日光の知られざる歴史・人物・文化遺産を活用したニューツーリズム事業】 近年、注目・再評価されている二宮尊徳翁が晩年を過ごした地が日光である。二宮尊徳翁を核に、日光の各認定ブランドを活用しながら、新たなツーリズムの可能性を探る。
17	佐野商工会議所 (栃木県)	【伝統的鋳物技術を活用したモダンな日用品の開発による地域活性化】 工芸品に特化していた鋳物技術を、現代生活にマッチしたモダンな日用品の作成に応用する。市内で産出される鉱石ドロマイトを利用して、新たな商品開発を進めるとともに、中心市街地の賑わい創出、観光事業への展開について調査研究を行う。
18	川越商工会議所 (埼玉県)	【「COCOも見て川越」魅力発信プロジェクト】 急増する外国人をはじめとする川越市への来訪者におもてなしあふれる旅行商品を提供するための基礎調査を行う。旅行商品の具体的な開発および、受入環境に関する指針を策定することを目標とする。
19	深谷商工会議所 (埼玉県)	【深谷『渋沢栄一のまち物語』プロジェクト】 近代日本経済の父「渋沢栄一」の出身地である深谷市において、渋沢栄一の人となり、経営に関する真髄、背景となった中山道深谷宿など全体を一つの「渋沢栄一のまち物語」として組立て、広く情報発信し集客を図る。
20	三島商工会議所 (静岡県)	【新四ツ辻文化の街・三島 温故創新プロジェクト】 街道が交差する三島の『四ツ辻文化』とそれにまつわる資源を掘り起こし、独自の伝統文化を活かした資源の磨き上げとストーリー付けの手法を探り、発信力と競争力のある三島ブランドの創出に向けた特産品づくりと観光商品づくりに取り組む。
21	袋井商工会議所 (静岡県)	【「花火のまち袋井」エリア観光で賑わうまちづくりプロジェクト】 「ふくろい遠州の花火」の経済波及効果およびお客様満足度を高めるため、袋井における花火の歴史に関する調査研究や地域の名勝・旧跡と連携した旅行商品を開発し、年間を通じて国内外から観光客が訪れる「花火のまち袋井」を目指す。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
22	名古屋商工会議所 (愛知県)	【外国人ビジネス客の観光消費拡大に向けた調査研究事業】 名古屋を訪れる外国人のうち、約70%を占めるビジネス客に対して、買物や食事、宿泊、土産品購入等の観光面での消費拡大を図るため、歴史遺産や産業観光資源を活用した新たな観光プログラムとモノづくり技術を活かした特産品を開発する。
23	蒲郡商工会議所 (愛知県)	【海のまち蒲郡の魅力再発見！ブランド化推進事業】 地域の魅力を再発見するため、一流の映像制作専門家の視点を活かして地域資源を再発掘・再構築する。コンテンツツーリズムを推進し、海のまち蒲郡の新たなブランド創出に取り組む。
24	津島商工会議所 (愛知県)	【「尾張津島天王祭」に食すごちそう開発プロジェクト】 尾張津島天王祭車楽舟行事がユネスコ無形文化遺産候補になったことをチャンスと捉え、祭と食をつなげた「天王祭の食」の開発に向けた調査研究を行う。天王祭&食の愉しみ・抹茶文化の嗜みをつなげた特色ある津島観光を目指す。
25	大和高田商工会議所 (奈良県)	【綿の廃棄部分を再利用したトレーサビリティを証明できる商品開発】 さくらコットン素材の製造過程で発生する大量の廃棄部分を再利用した商品化の検討を進める。地域ブランド「さくらコットン」の経営基盤の安定に向けた原料の有効活用、環境対策を図ることで、大和高田市が確かなものづくりのまちであることを発信する。
26	福山商工会議所 (広島県)	【ばらの酵母菌で瀬戸内・福山の六次産業を醸すプロジェクト】 福山市の花である福山産のばらの花から分離した有用酵母菌と地元産のブドウ等を活用して、ワイン等の果実酒とワインにあう新食感のパンを開発する。相乗効果が期待され、この取り組みから、第六次産業の育成にもつながる。
27	府中商工会議所 (広島県)	【中心市街地賑わい・地域コミュニティ基幹店育成の調査研究事業】 魅力・求心力が低下する中心市街地において、一店逸品運動による商業者の資質向上と、賑わいイベントによる集客を図り、住民交流の機会提供、さらに、消費者意識調査を行い、今後必要な情報を収集する。
28	須崎商工会議所 (高知県)	【高知県須崎発！ウツボ全国展開調査研究プロジェクト】 まちで昔から親しまれてきた食文化（ウツボ）を商品化し、全国展開することで流入人口の増加および雇用の創出を実現させる。活力ある地域への変革に向けて、必要な知識・情報の収集と試作品開発を行う。
29	八女商工会議所 (福岡県)	【八女産オリーブの商品化に向けた調査研究事業】 「八女産オリーブ」による新たな産業おこしを行い、将来の地域形成に必要な人材の確保を図るとともに、オリーブを活用した産業化の基盤整備に向けた調査研究を実施する。
30	柳川商工会議所 (福岡県)	【名勝「水郷柳川」の隠れた名所・旧跡を活用した観光開発調査事業】 「北原白秋の詩情を育んだ『水郷柳川』」として国の名勝指定の答申を受けた今こそ、まだ全国的に知られていない名所・旧跡等を活用して、従来の観光と違った新たな観光商品の開発に向けた調査・研究を行う。
31	小城商工会議所 (佐賀県)	【きになる小城のきになる魅力発見事業】 九州の小京都である小城は、歴史・文化資源が多数点在しているものの、観光資源として十分に活かされていない。そこで、新たに神社仏閣の朱印を作成し、文化資源を活かした観光ルート化を図るとともに、羊羹清酒、鯉料理等の普及に向けた調査を行う。
32	宇佐商工会議所 (大分県)	【行列が出来る儲かる「うさ観光グルメ」・開発プロジェクト】 東九州自動車道路の開通、国東半島・宇佐地域の世界農業遺産認定による周辺への観光流入を好機と捉え、宇佐市内の異業種連携による観光客誘致能力の高い魅力ある「食ブランド構築」を通じた新たな観光資源開発に取り組む。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
33	那覇商工会議所 (沖縄県)	【琉球王朝大交易の歴史を資源とする那覇市の地域ブランディング】 観光立県沖縄県の中心である那覇市のブランド力の向上を目指し、琉球王国が大交易時代、東アジア・東南アジア諸国と積極的に交易をした歴史を資源に、観光商品の開発の可能性を探る調査研究事業。

2. 本体事業1年目（商工会議所26件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	紋別商工会議所 (北海道)	【紋別ジンタレほたて焼きそば「ほたてジンタレ」開発プロジェクト】 昨年一般市民を対象に募集した紋別の特産品を使用したグルメレシピで最優秀賞に輝いた「ジンタレほたて焼きそば」のほたてジンタレ（万能タレ）の開発に着手し、紋別の新たな特産品としての商品化を目指す。
2	富良野商工会議所 (北海道)	【食べらサア〜「ドレッシング」開発事業】 野菜の購買意欲度調査全国1位の富良野市では、農産物の販売拡大、飲食店での地元野菜利用拡大を図るため、健康志向の消費者をターゲットに、有機・無農薬栽培の農産物を活用した「ドレッシング」の商品開発を行う。
3	恵庭商工会議所 (北海道)	【市内観光のモデル確立を目指す「恵庭の魅力おためしツアー」】 道の駅を起点としたドライブ観光を促進するため、恵庭市内への滞在を図るための幹線ルートと、滞在モデルコースの整備を目指したモニターツアーを実施する。
4	酒田商工会議所 (山形県)	【「鳥海山・飛鳥」ジオツアー造成事業】 酒田市、遊佐町、秋田県にかほ市、由利本荘市の4市町が一体となり、鳥海山と飛鳥の「日本ジオパーク」認定を目指している。ジオツーリズムを楽しむ場所として地域を磨き上げ、交流人口の拡大を図る。
5	新庄商工会議所 (山形県)	【雪を活用した冬期観光商品プランニング事業】 観光客の入込数が伸び悩む冬期間に、国内有数の豪雪地帯という地域環境と、地域資源を活用した新たな観光商品をプランニングし、誘客増を図る。また、商品のブラッシュアップと併せて地域内の受け入れ体制の整備を推進する。
6	糸魚川商工会議所 (新潟県)	【大人の学び旅 大地の学校・糸魚川「ジオ学」プロジェクト】 日本で初めて世界ジオパークに認定された「糸魚川世界ジオパーク」の個性である「学び」を活かし、「見る」ことに加え、「味わう」「体験する」「伝える」魅力と併せて、人と大地の関係を楽しむ旅を提案する。
7	上田商工会議所 (長野県)	【必勝祈願！最強2大武将にあやかる観光ルート開発事業】 戦国武将真田幸村公と上杉謙信公の最強2大武将を地域資源に、上田市と上越市をつなぐ観光ルートを開発し、商品化を目指す。
8	下諏訪商工会議所 (長野県)	【食文化で特産品開発】 地域に根差す食文化を紐解き、地域色豊かな特産品の開発を実施する。
9	千曲商工会議所 (長野県)	【杏都「新グルメ紀行」】 杏料理を開発して、千曲市内飲食店に展開する。また、千曲市の名所に足を運ぶ観光客が、それらの飲食店を回遊できる仕掛けづくりを行い、千曲市の杏料理と観光名所を全国に発信する。
10	桐生商工会議所 (群馬県)	【“桑やシルクを地域資源とした体験型観光プログラムの開発】 桑やシルクを地域資源とした体験型観光プログラムの開発を行う。桑やシルクに関連した織物工場・染色工房・桑畑・養蚕農家・のこぎり屋根工場などを巡り、地域の絹織物文化に触れる体験型の観光プログラムの開発を行う。
11	佐原商工会議所 (千葉県)	【伊能忠敬の地域経営手法を範にとる佐原地域ぐるみビジネス展開プロジェクト】 佐原の誇りである伊能忠敬が取り組んだ地域経営の手法を読本として取りまとめ、『江戸優り』のまちづくり観光の指南書として活用する。また、忠敬ブランドの商品開発や視察ビジネスの受け入れなど、地域ぐるみビジネスの実証的な取り組みを展開する。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
12	横須賀商工会議所 (神奈川県)	<p>【新生・横須賀実践フォーラム<コミュニティビジネス創業支援事業>】 女性、中高生、商業者、起業家、母親、外国人などセグメントごとのミーティングとクロスセッションを重ね、人口問題解決に向けた事業アイデアを練り、それを創業まで支援する「実行委員会」を核とした「新生・横須賀実践フォーラム」を運営する。</p>
13	富士吉田商工会議所 (山梨県)	<p>【富士山まちなか文化遺産を活用した観光商品開発】 世界文化遺産・富士山の門前町としての役割を果たしてきた富士吉田のまちなかに根ざしている、富士山の恵みが生み出してきた文化に関わる観光商品開発を推進し、「富士山のまちなか観光」を実現する。</p>
14	大府商工会議所 (愛知県)	<p>【「健康増進型・ヘルスツーリズム」モニターツアーin大府】 健康都市・大府ならではの歩く健康教室および、地域資源を活用した食・文化を巡るモニターツアーを実施する。“大府市”＝“健康のまち”というイメージ向上による地域活性化を目指す。</p>
15	四日市商工会議所 (三重県)	<p>【四日市の新お土産物開発プロジェクト】 四日市市の特産品を活用した新たな土産物の商品化を目指し、試作品の製作と選定、市場調査、販売戦略の策定、商品プロモーション、販路開拓を実施する。</p>
16	伊勢商工会議所 (三重県)	<p>【伊勢神宮125社めぐりと食の魅力向上プロジェクト】 地域資源である「伊勢うどん」を食べ歩きながら、神宮125社を巡る「食と散策」をテーマに、「着地型旅行商品」ならびに「周遊モデルコース」を開発し、観光客の滞在時間の延長と中心市街地の活性化を図る。</p>
17	鳥羽商工会議所 (三重県)	<p>【心と体を元気にするワンハンド和食&スイーツ全展プロジェクト】 旬の食材がもつパワーを生かした和食やスイーツを開発し、「食べて元気になる旅のコース」を新たに造成する。交流人口を増大させることで、市内に明るさを取り戻す。</p>
18	熊野商工会議所 (三重県)	<p>【「熊野遺産」産業化プロジェクト】 高速道路の開通を機に、熊野の自然遺産、歴史文化遺産、産業遺産等を結びつけて資産化するプロジェクト。関連する商品等の高い品質を保证するための認証制度を設けることで、ニッチトップな観光都市としての地位を固め、観光振興につなげる。</p>
19	長浜商工会議所 (滋賀県)	<p>【戦国の舞台と観音の里：おもてなしの観光食とツアー開発事業】 戦国の舞台・観音の里・旧街道のまち等の特色ある観光地・長浜の課題である、広域周遊観光ツアーの開発とその歴史に育まれた郷土の食文化・歴史を活用した、長浜ならではの観光食メニューの開発と、特産野菜等による土産物の開発を行う。</p>
20	彦根商工会議所 (滋賀県)	<p>【ひこねプレミアム甲冑製作事業～戦国・江戸産業復活～】 彦根市の地場産業初のコラボレーションにより、プレミアムな甲冑と従来ある鎧櫃ではなく、仏壇と融合して装飾・格納できるプレミアム化粧箱を開発する。さらに甲冑をモチーフとした各種装飾物等も展開する。</p>
21	大阪商工会議所 (大阪府)	<p>【都市型アウトドアツーリズム「淀川アーバン・キャンプ」】 大都市・大阪を流れる随一の河川・淀川の自然、文化、観光、スポーツの魅力を活かして、都市で気軽に楽しめる新たな観光魅力「都市型アウトドアツーリズム」と、流域を結ぶ観光舟運を実施する。</p>
22	田辺商工会議所 (和歌山県)	<p>【梅産業PR事業】 田辺市は日本一の梅産地でありながら、一次加工に関連する業種についてあまり知られていない。そこで、地元の梅を関連付けた産業観光商品を開発し、観光客、地元消費者を中心に、梅産業の文化を地域内外に周知徹底させる。</p>

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
23	出雲商工会議所 (島根県)	<p>【出雲“薬草×美活”プロジェクト】 出雲風土記には61種類の薬草の記載があり、古代出雲には豊富な薬草が自生していたことが伺える。現代にも息づく薬草の力で心と体の両面から美にアプローチし、幸せを引き寄せるための食と体験の滞在型観光プログラムの創出を目指す。</p>
24	廿日市商工会議所 (広島県)	<p>【牡蠣をテーマに市内周遊性を向上させる観光サービスの開発】 地域資源である牡蠣をより有効に活用し、地域周遊性を高める観光サービスを提供する。専用のスマホアプリを利用し、牡蠣に関する飲食店や小売店、また他の地域観光資源について情報発信し、地域全体の経済波及効果を狙う。</p>
25	防府商工会議所 (山口県)	<p>【学習意欲の高い女子を中心とした新！『産業観光』ルートの構築】 産業観光に興味を持つ「産業女子」をメインターゲットに、インバウンドにも対応できる防府の新たな観光ルート開発や、地域ブランドを活用した「食」「土産品」の開発を行い、観光交流人口の増大とまちの賑わい創出を目指す。</p>
26	柳井商工会議所 (山口県)	<p>【“サザンセットエリア”魅力発信プロジェクト】 柳井市を含む南瀬戸内海の「サザンセットエリア」における新たな観光ルートの商品化を目指す。昨年度実施したアンケートの調査結果に基づいて作成した散策ルートのモニターツアーを実施し、問題点を洗い出し、改善点について検討する。</p>

3. 本体事業2年目（商工会議所7件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	小樽商工会議所 (北海道)	【「しりべしアグリツーリズム」による新たな後志周遊観光創出事業】 小樽発着のアグリツーリズムにより、後志に点在する農産資源を結び、生産者と消費者等との交流や新メニューの開発を行い、周遊観光ルートの開発や食や観光産業の雇用創出、規格外等農産物活用を目指す。また、将来のアグリツーリズムを担う人材の育成を図る。
2	久慈商工会議所 (岩手県)	【「あまちゃん」等ロケツーリズムの推進と北三陸の魅力発信事業】 「あまちゃん」をはじめとするロケ地観光や、北三陸地域特有の観光資源を活用した観光事業の創出と効果的な地域プロモーション活動により、交流人口の拡大を図る。
3	加茂商工会議所 (新潟県)	【歴史探訪プロジェクト～中世と幕末の加茂を辿る～】 観光開発では、中世の山城をテーマにした観光ルートの開発とイベントを開催する。また、河井継之助を中心に北越戊辰戦争と加茂の関わりになんだ土産品の改良と、市場調査を行う。
4	川越商工会議所 (埼玉県)	【川越唐棧Rebornプロジェクト】 かつて江戸っ子を魅了した川越唐棧の魅力を現代に伝えるための新製品開発を行う。また、地域団体登録商標を将来的に利活用することで、川越唐棧が川越市の特産品としての地位を確立するための事業を展開する。
5	市原商工会議所 (千葉県)	【市原市の歴史を活用した「いちほら国府ブランド」の確立】 農商工連携で生まれる商品を、「いちほら国府ブランド」として販売を後押しする。特に女性向けのストーリー性のある商品とするため、市原市の歴史（国府、更級日記など）を活用した新商品開発を行う。
6	大阪商工会議所 (大阪府)	【ライフスタイルに合ったリノベーションによる中古物件の活用推進】 空き家対策のために必要な中古物件の活用を推進するために、消費者のライフスタイルにあった住環境を創るリノベーションが進むビジネスモデルの創出や、業界横断的な企業運動で、中古物件活用のムーブメントを起こす活動モデルを実証する。
7	大洲商工会議所 (愛媛県)	【大洲まるごと栗イズム～地元産の栗を活用した特産品づくり～】 生産量、味、品質ともに高いポテンシャルを持つ地元産栗を活用して開発された試作品を、参画事業者の生産加工技術と専門家のノウハウを融合させ、商品化につなげることで、地域経済の振興と活性化に寄与する。

平成27年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト(追加募集分)
採択案件一覧

1. 調査研究事業(12件)

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	岩見沢商工会議所 (北海道)	【岩見沢産ワインを中心とした観光プログラム・飲食メニューの新規創出事業】 岩見沢市はワインを目的とした通過型観光は増えているが、市内飲食店など地域全体への広がりが無い。そこで、ワインを中心とした観光プログラムと飲食メニューの開発を進め、滞在型の観光地を目指す。
2	塩釜商工会議所 (宮城県)	【聖地巡杯観光ルートモニタリング事業】 通過型観光からの脱却を目指し、塩竈を訪れる観光客ニーズを把握するとともに、神社、日本酒、鮎、離島等の資源を連携させた周遊観光、広域観光の商品造成を進め、観光を通じた地域の産業振興を図る。
3	岡谷商工会議所 (長野県)	【遊休農地を活用し、原材料から作る岡谷味噌ブランド調査研究事業】 製糸業で繁栄した時代から続く岡谷の特産品である味噌を活用した商品開発、ブランド化と、農家の高齢化、後継者不足により増加傾向にある遊休農地を活用した、地元原料供給体制の構築に向けた調査研究事業。
4	下諏訪商工会議所 (長野県)	【酒蔵とパワースポットとまち歩きのコラボによる観光商品開発】 地域のパワースポット(寺社仏閣)と酒蔵との結び付き、中山道宿場町の歴史が残るまち歩きを結び付けた観光商品の開発を検討する。また、下諏訪商工会議所が取得している関連商標を活用した特産品の開発も同時に進める。
5	ひたちなか商工会議所 (茨城県)	【「ほしいも」魅力発信プロジェクト】 地元の資源である「ほしいも」のブランド構築に向けた新商品の開発を進める。また、インバウンド振興を視野に入れた観光客の増加策の研究を行い、「ほしいも」を活用した観光商品の開発について検討する。
6	瑞浪商工会議所 (岐阜県)	【瑞浪発・訪日外国人旅行者に訴求するリサイクル陶磁器の開発プロジェクト】 瑞浪市の訪日外国人旅行者が増加傾向にある中、地域資源である美濃焼や研究が進むリサイクル陶磁器の技術を活用した土産品の開発に向けた調査研究を行う。
7	春日井商工会議所 (愛知県)	【「春日井よいとこ」あるある発掘大作戦に係る調査研究事業】 “観光の産業化”を使命に平成26年度に観光協会が市役所から商工会議所に移管されたことに伴い、地域の観光資源の発掘と同資源を活用した観光商品の開発に向けた調査研究を実施する。
8	彦根商工会議所 (滋賀県)	【ひこねホワイトアスパラ・フェスティバル事業】 昭和20年代から生産が開始され、現在では全盛期の20分の1程度まで生産が落ち込んでいる彦根ホワイトアスパラガスの再興を目指し、近江牛等彦根の歴史ある食材と組み合わせた新たな食べ方、新商品の開発を目指し調査研究を行う。
9	総社商工会議所 (岡山県)	【「パンわーど総社」による総社ブランドの確立を目指す調査研究事業】 「赤米」「総社ドッグ」を使ったパンの新商品を開発し、総社へ行けばおいしいパンが食べられる、総社には魅力的なパン屋さんがたくさんあるといった「パン」を活用した総社ブランドを確立するための調査研究を行う。
10	宿毛商工会議所 (高知県)	【宿毛旅がきっかけ「体感」健康増進プロジェクト調査研究事業】 交流人口の増加、日本一高齢者に優しい街を目指して、定住人口の増加に繋げていくための「ヘルスツーリズム」の商品化を研究する。医療+健康+旅行をセットに、必要な知識、情報の収集と観光プランの開発を進める。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
11	水俣商工会議所 (熊本県)	<p>【コミュニティキッチンを拠点とした食ビジネス創出プロジェクト】 食をテーマに小規模事業者や「小商い」を志向する市民（若者・女性・高齢者等）を対象に、食品加工から販売までを行う担い手の育成、ビジネス創出のための支援につなげられるコミュニティキッチンの開発を進める。地域資源を活用した安心・安全な食ビジネスの創発を目指す。</p>
12	奄美大島商工会議所 (鹿児島県)	<p>【名瀬まち商店街観光まちづくり事業調査】 奄美の人や伝統文化、自然動植物を地域資源として捉え、世界自然遺産登録やLCC、クルーズ船により増加した観光客をターゲットとする新たな観光商品と特産品の開発、ブランド化に向けた調査研究を行う。</p>

2. 本体事業1年目（1件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	岐阜商工会議所 (岐阜県)	<p>【Made in Gifu を結集した「岐阜シャツ」プロジェクト】 「繊維のまち」として知られる岐阜市は素材から縫製までをすべて岐阜で行うことができる地域特性を持っている。参画企業と共にアパレル素材や新商品の開発、企業連携・デザイン力の強化を進め、岐阜の繊維産業のブランド力向上を目指す。</p>